

経済概況（ロンバルディア州）

2023年4月
在ミラノ総領事館

基礎データ

* 括弧内の%は伊全体に占める割合

- 面積：23,863km² (7.9%) ●人口：9,943,004人 (16.8%、2022年)
- 名目GDP：4052億6680万ユーロ (22.7%、2021年)
- 1人あたりの名目GDP：40,679ユーロ (伊30,136ユーロ、2021年)
- 経済成長率：+4.3% (伊+3.9、2022年予測値)
- 失業率：4.9% (伊8.2%、2022年)
- 輸出額：1626億600万ユーロ (26%、前年比+19.1%、2022年)
- 主要輸出品目：電気機器、一般製造用機械、化学品、衣類、鉄・鋼鉄、金属加工品、鉱物、医薬品、衣類、繊維物、電気製品

(出典：伊国立統計局 (ISTAT) 及び伊中銀)

対日貿易

- 対日輸出：10億0770万ユーロ (2022年第1及び2四半期)
- 対日輸入：11億6000万ユーロ (2022年第1及び2四半期)

(2022年11月、出典：伊中銀)

経済動向

<2023年3月> (アッソロンバルダ経済レポートより抜粋)

- 2022年第4四半期におけるロンバルディア州の製造業は全四半期比+0.8%を記録 (全国平均は-0.4%)。年間平均は2021年比+6.3%、2019年比+10.8%を記録し、全国におけるパンデミックからの回復 (+0.5%) をはるかに上回った。また、スペイン (-0.6%)、フランス (-4.6%) 及びドイツ (-5.8%) に大きく差をつけた。中でも「メイド・イン・イタリア」における分野が特に成長しており、内ファッションが第1位 (衣類+24.5%、皮・靴+21.7%、繊維+10.8%)、続いてデザイン (木材、家具)、食品及び機械 (それぞれ+6.8%) である。しかし、2022年初頭の高成長率と比べ、年末の成長率は減速した。
- 貿易は2022年で1626億ユーロに達し、2021年比+19.1% (伊+20%)、パンデミック前の水準から+27.5%となったが、今後のインフレーションの動向を強く受ける可能性がある。地域別に見ると同州が最も高く、続いてピエモンテ州+18.5%、ベネト州+16%、エミリア=ロマーニャ州+14.6%である。一番成長した分野は電子機器 (+30.7%)、木材 (+23.7%)、ファッション (+23.3%)、金属 (+22.7%)、医薬品 (+22.5%) である。
- 同州の輸出先は非EU国が年間+19.5%となり、中でも米国が+37%、続いてスイスが+31.9%、トルコが+22.4%であった。EU域内においては年間+11.5%となり、オランダが+27.9%、続いてスペインが+27.7%、ドイツが20.3%、ポーランドが+17.9%、フランスが+13.9%であった。
- 2022年の雇用者数は2021年比9万2千人増であるが、2020年比-2万7千人となった。2022年の増加の主な理由は失業者の減少 (-4万5千人) 及び非活動者数の減少 (-6万4千人) によるものである。前者はパンデミック前 (-3万9千人) と比べ改善しているが、後者は依然として、2019年のレベル (4万千人) を超えている。2022年における失業率は4.9%に低下し、パンデミック前の5.6%を下回った。また、雇用率は68.2%に上昇し、2019年の68.9%の数値にほぼ回復した。性別構成を見ると、男性の雇用率が2021年の73.4%から75.8%、女性の雇用率が59.5%から60.4%となった。分野別に見ると、農業が2021年比1万7千人減となり、一方で商業、ホテル、レストラン業が+3万人、建設業が+2万4千人、他のサービス業が+1万8千人となった。

